

2023年 12月16日	日仏社会学会ニュース	No. 59 日仏社会学会事務局
-----------------	------------	---------------------

<記事>

1. 2023年度日仏社会学会総会から

(1) 総会における決議事項 (2) 2022年度会務報告 (3) 2022年度会計報告ならびに2024年度予算

2. 会員業績の年報掲載について

3. 『日仏社会学会年報』(第34号)への投稿論文等の募集について

4. 「日仏社会学会奨励賞」候補の募集

5. 新入会員のご紹介

6. 会費納入のお願い

1. 2023年度日仏社会学会総会から

10月28日(土)に早稲田大学において、日仏社会学会総会が開催されました。

(1) 総会における決議事項

1) 2022年度会務報告並びに同年度会計報告を承認(各別掲)

2) 2024年度事業計画並びに予算案を承認(各別掲)

(2) 2022年度会務報告(2022年4月1日～2023年3月31日)

<2022年度>

2022年

4月5日(火):『日仏社会学会ニュース』第56号を発行

6月19日(日):日仏会館助成研究 研究会(2)

「コロナ禍と学生生活に関する社会学的研究:日仏比較」研究会

報告者:大前敦巳(上越教育大学)、近藤理恵(岡山県立大学)、佐藤典子(千葉経済大学)

7月30日(土) 研究例会

テーマ:「デュルケーム世俗道徳論の中のユダヤ教」

報告者:平田文子(埼玉工業大学)

司会:江頭大蔵(広島大学)

コメンテーター:太田健児(尚絅学院大学)

理事会:大会について、年報34号の特集企画について、奨励賞について、研究活動について

11月19日(土):2022年度日仏社会学会大会・総会開催(奈良女子大学)

11月30日(水):『日仏社会学会年報』第33号発行

12月16日(金)『日仏社会学会ニュース』第57号を発行

2023年

2月27日(月):国際シンポジウム「社会学と人類学:比較分析の方法」(主催:科学研究費補助金・基盤研究(B))

『集合意識』から『情動の社会学』へ—デュルケーム社会学の現代的展開(22H00904)、日仏社会学会、デュルケーム/デュルケーム学派研究会、共催:奈良女子大学社会学研究会、神戸大学社会学研究会)

報告者：ジルダ・サルモン Gildas SALMON（国立科学研究センターCNRS・社会科学高等研究院EHESS）、笠木丈（甲南大学）

司会：横山寿世理（聖学院大学）

2月28日（火）ラウンドテーブル「ジルダ・サルモン氏を囲んで」（主催：科学研究費補助金・基盤研究（B）『集合意識』から『情動の社会学』へ—デュルケーム社会学の現代的展開（22H00904）、日仏社会学会、デュルケーム/デュルケーム学派研究会、共催：奈良女子大学社会学研究会、神戸大学社会学研究会）

報告者：ジルダ・サルモン Gildas SALMON（国立科学研究センターCNRS・社会科学高等研究院EHESS）

3月10日（金）：国際シンポジウム「モダニティを問い直す：デュルケーム、ブルデュー、さらにその先へ」（主催：科学研究費補助金・基盤研究（B）『集合意識』から『情動の社会学』へ—デュルケーム社会学の現代的展開（22H00904）、日仏社会学会、デュルケーム/デュルケーム学派研究会、共催：日仏会館・フランス国立日本研究所、公益財団法人日仏会館）

報告者：ジルダ・サルモン Gildas SALMON（国立科学研究センターCNRS・社会科学高等研究院EHESS）、川本彩花（日本学術振興会特別研究員・滋賀大学）、山田陽子（大阪大学）

司会：白鳥義彦（神戸大学）

3月18日（土）：日仏社会学会シンポジウム、（共催）日仏会館、日仏教育学会

「コロナ禍における医療・看護系学生の闘い — フランスにおける国家と教育」

報告者：荻野昌弘（関西学院大学）、大前敦巳（上越教育大学）、小田切祐詞（神奈川工科大学）、近藤理恵（岡山県立大学）、佐藤典子（千葉経済大学）、中村健太（関西学院大学大学院）、西田尚輝（東京大学大学院）、原岡蓉子（創価大学）

司会：北垣徹（西南学院大学）、白鳥義彦（神戸大学）

### （3）2022年度会計報告ならびに2024年度予算案

2022年度会計			
<2022年4月1日—2023年3月31日>			
（単位：円）			
収入の部		支出の部	
繰越金	834,766	印刷費	185,020
入会金	3,000	通信費	39,966
年会費	370,000	事務用品費	11,801
受取利息	3	交通費補助	0
雑収入	0	雑費	62,934
		バイト代	35,800
		ホームページ	14,498
		繰越金	857,750
合計	1,207,769	合計	1,207,769

## 2024年度予算案

〈2024年4月1日－2025年3月31日〉

(単位：円)

収入の部		支出の部	
繰越金	700,000	印刷費	250,000
年会費	420,000	通信費	70,000
雑収入	0	事務用品費	10,000
		交通費補助	70,000
		雑費	260,000
		アルバイト代	50,000
		ホームページ	20,000
		予備費	390,000
合 計	1,120,000	合 計	1,120,000

注記：繰越金額は2023年度末までの入金状況および出金状況を勘案した見込みです。

### <2024年度事業計画>

1. 2024年度日仏社会学会大会の開催
2. 『日仏社会学会年報』第35号の刊行
3. 研究例会の開催
4. 理事選挙
5. その他

### 2. 会員業績の年報掲載について

日仏社会学会では、日仏社会学に関連する会員の業績を募集し、毎年刊行の『日仏社会学会年報』にて紹介しております。

送付締め切り：2024年3月31日（必着）

2023年1月1日～12月31日までに発行された業績5点まで（論文、報告書、翻訳）。

業績の記載方法：編集の都合上、『社会学評論』のスタイル・ガイド、「文献」記載方法の通りでお願いします。

（文字ポイントは10.5、フォントはMS明朝とCentury）

（単著の本）著者名，出版年，『タイトル—サブタイトル』出版社名。

（共著の本）ファーストオーサー氏名・共著者名，出版年，『タイトル』出版社名。

（編著論文）著者名，出版年，「論文タイトル」著者名編『本のタイトル』出版社名。

（雑誌論文）著者名，出版年，「論文タイトル」『雑誌名』巻（号）：論文のページ（例315-505）。

（翻訳書・翻訳論文）原典書誌情報（＝翻訳の出版年，訳者名訳『訳書のタイトル』出版社名。）

送付の方法：Eメール。ご送付の際には、お名前とご所属もお伝えください。

送付先：kondo@fhw.oka-pu.ac.jp（岡山県立大学、近藤理恵宛／電話番号：0866-94-2192）

また、日仏社会学年報に著書、翻訳書（共著、共訳可）の書評を掲載されたい学会員は、日仏社会学会編集委

員会まで、メールで、ご氏名、著書名ないしは翻訳書名、出版年、出版社名をお知らせください（宛先：kondo@fhw.oka-pu.ac.jp）。書評対象は、近年、学会員がご執筆された①フランス社会学、②フランス社会（社会思想史を含む）、③日仏社会に関する広義の比較研究に関する著書、翻訳書（共著、共訳可）です。自薦、他薦のどちらも受け付けております。

### 3. 『日仏社会学会年報』（第35号）への投稿論文等の募集について

2024年度発行予定の『日仏社会学会年報』（第35号）への論文等の投稿を、以下の要領で募集いたします。また、書評に関しては、随時受付しております。

(1) 原稿締め切り：2024年3月31日

(2) 発行日：2024年11月30日

(3) 原稿送付先：〒719-1197 岡山県総社市窪木111 岡山県立大学保健福祉学部

近藤理恵宛（『日仏社会学会年報』編集事務局）

電話 0866-94-2192 e-mail:kondo@fhw.oka-pu.ac.jp

(4) 投稿規定

- 1) 本誌に発表する論文等は、(1) フランス社会学に関するもの、(2) フランス社会（社会思想史を含む）に関するもの、(3) 日仏社会に関する広義の比較研究に関するもののうち未発表のものに限る。
- 2) 使用言語は日本語、フランス語、または英語のいずれかとする。
- 3) 論文は 400字詰め原稿用紙換算50枚程度  
(図表等を含め約20,000字。フランス語または英語の場合は約5,000語)
- 4) 研究ノートは 400字詰め原稿用紙換算30枚以内  
(図表等を含め約12,000字。フランス語または英語の場合は約3,000語)
- 5) 資料紹介、書評および内外研究動向は 400字詰め原稿用紙換算20枚以内。  
(約8,000字。フランス語または英語の場合は約2,000語)
- 6) 論文、研究ノートには仏文または英文タイトルを付し、論文には 300語以内の仏文または英文の要約、研究ノートには 200語以内の仏文または英文の要約を添付する。また、5語以内の日本語及び、仏文または英文のキーワードを要約の後に添付する。
- 7) 原稿はワープロ原稿とし、打ち出し原稿3部にCD-Rを添えて、簡易書留にて送付のこと。なお、原稿を送付する際に、著者名（英文付記）と所属、著者の連絡先（住所、電話、ファックス、Eメールアドレス）を書いた用紙1枚も送付のこと。
- 8) 図表については版下作製に別途費用を要する場合には実費負担とする。
- 9) 引用文献等の記述形式は以下のとおりとする。
  - ・本文には注の番号のみを記載し、引用文献、参考文献等は末尾に置く。
  - ・著書の場合には、著者名、書名、出版社名、出版年、引用頁を記載する。
  - ・論文の場合には、執筆者名、論文名、掲載誌名、巻号、発行機関、発行年、引用頁を記載する。
- 10) 投稿論文等については、編集委員会が委嘱する審査委員による審査を行い、審査結果に基づいて掲載の可否を決定する。審査委員が指示した論文等の修正が出版期日に間に合わなかった場合、その審査は次年度に継続される。
- 11) 本誌に掲載された論文等の著作権は、本学会に属するものとする。ただし、著者が後日、自分の論文等を著書等に編集する場合は原則としてこれを認め、著作権料を徴収しないものとする。
- 12) 本誌に掲載された論文等は原則として電子化し、公開するものとする。

#### 4. 「日仏社会学会奨励賞」候補の募集

「日仏社会学会奨励賞」の候補を下記の要領で募集します。自薦他薦を問いませんので積極的に推薦をお願いします。

##### ◇本賞の対象◇

- (1) 候補者の資格：本賞の対象者は、日仏社会学会の会員であり、かつ論文に関しては発行時において大学院修士課程入学後13年以内、著書（翻訳書を含む）に関しては18年以内の者とする。
- (2) 対象となる業績：原則として当該年度（2024年）の前年（2023年1月1日～12月31日）において出版された、日仏社会学及び日仏に関連づけられた研究についての著書、論文及び翻訳書のうち著者の申請または推薦者以外の会員及び候補作推薦委員によって推薦された研究業績とする。
- (3) 推薦の締め切り：2024年3月31日（必着）で、対象となる出版物1部と推薦書を事務局宛に提出してください。（※推薦書の統一的な書式はありませんが、A4ワープロ用紙に、候補者の氏名、連絡先、所属、略歴と業績、対象出版物の書名を記載してください。）

日仏社会学会事務局：〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155

関西学院大学社会学部

- (4) 受賞者の選考：当該年度の理事の中から互選された候補作推薦委員3名と、候補作審査委員3名をもって構成される日仏社会学会奨励賞選考委員会において選考し、理事会で決定する。
- (5) 公表・表彰：『日仏社会学会ニュース』『日仏社会学会年報』などで公表し、総会において表彰される（賞状と記念品）。

#### 5. 新入会員のご紹介

小泉空（大阪大学大学院）

#### 6. 会費納入のお願い

2023年度会費を納入くださいますようお願いいたします。2020、2021、2022年度会費未納の方は、これも併せて納入ください。2023年度の会費を納入されていない場合、年報34号が発送されません。納入が確認できしだい、発送させていただきます。なお、会費は5,000円（院生会員は3,000円）です。同封の振替用紙にてよろしくようお願いいたします。郵便振替口座 00960 - 6 - 278804 口座名 日仏社会学会

-----  
日仏社会学会事務局

〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155

関西学院大学社会学部

TEL/FAX 0798-54-6953, nichifutsusocio@gmail.com

http://www.nichifutsu-socio.com/  
-----